

同時資料提供先

高松サンポート合同庁舎記者クラブ
愛媛県番町記者クラブ
松山市政記者クラブ

平成 26 年 5 月 23 日

四国地方整備局

瀬戸内海首長サミット「瀬戸内・海の路 観光と防災の融合」 ～瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会 平成 26 年度総会～

「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会（海ネット）」（別紙 1 参照）は、平成 26 年度総会及び第 8 回瀬戸内海首長サミットを開催します。

第 8 回瀬戸内海首長サミットでは、「瀬戸内・海の路 観光と防災の融合」をテーマに参加首長が議論を行い、サミットの最後に「瀬戸内海首長サミット松山宣言」を採択し発表します。

■日時 平成 26 年 5 月 30 日（金）13:30～18:00

■場所 松山全日空ホテル 愛媛県松山市一番町 3 丁目 2-1 TEL 089-933-5511

■プログラム（予定）

【開会】13:30～14:00

- | | | | |
|--------------------------|-----|---------|-------------|
| ・開会挨拶 瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会 | 副会長 | しみず 清水 | ひろし 裕（大洲市長） |
| ・来賓挨拶 愛媛県知事 | | なかむら 中村 | ときひろ 時広 |
| ・来賓挨拶 国土交通省 大臣官房審議官 | | まつばら 松原 | ゆたか 裕 |
| ・歓迎挨拶 松山市長 | | のし 野志 | かつひと 克仁 |

【第 1 部】14:00～14:20

- ・平成 26 年度総会（平成 25 年度事業報告、平成 26 年度事業計画（案）について等）

【第 2 部】14:20～14:50

- ・講演「瀬戸内海の魅力について」

講演者「瀬戸内海の島々を訪ねて」著者

やまぐち 山口
こうぞう 皓三 氏

【第 3 部】15:00～18:00

- ・第 8 回瀬戸内海首長サミット

テーマ「瀬戸内・海の路 観光と防災の融合」（別紙 2 参照）

参加予定首長：（別紙 3 参照）

「瀬戸内海首長サミット松山宣言」を採択し発表。

※ 当日、会場には報道者席を用意しておりますので、受付にお申し付け下さい。

本施策は、四国圏広域地方計画「No.9 瀬戸内フィールドミュージアムプロジェクト」の取組みに該当します。

○問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部

電話番号 (087) 811-8330 【直通】

（担当） 沿岸域管理官

しんみょう 新名

かおる 薫

（内線 6215）

港湾計画課

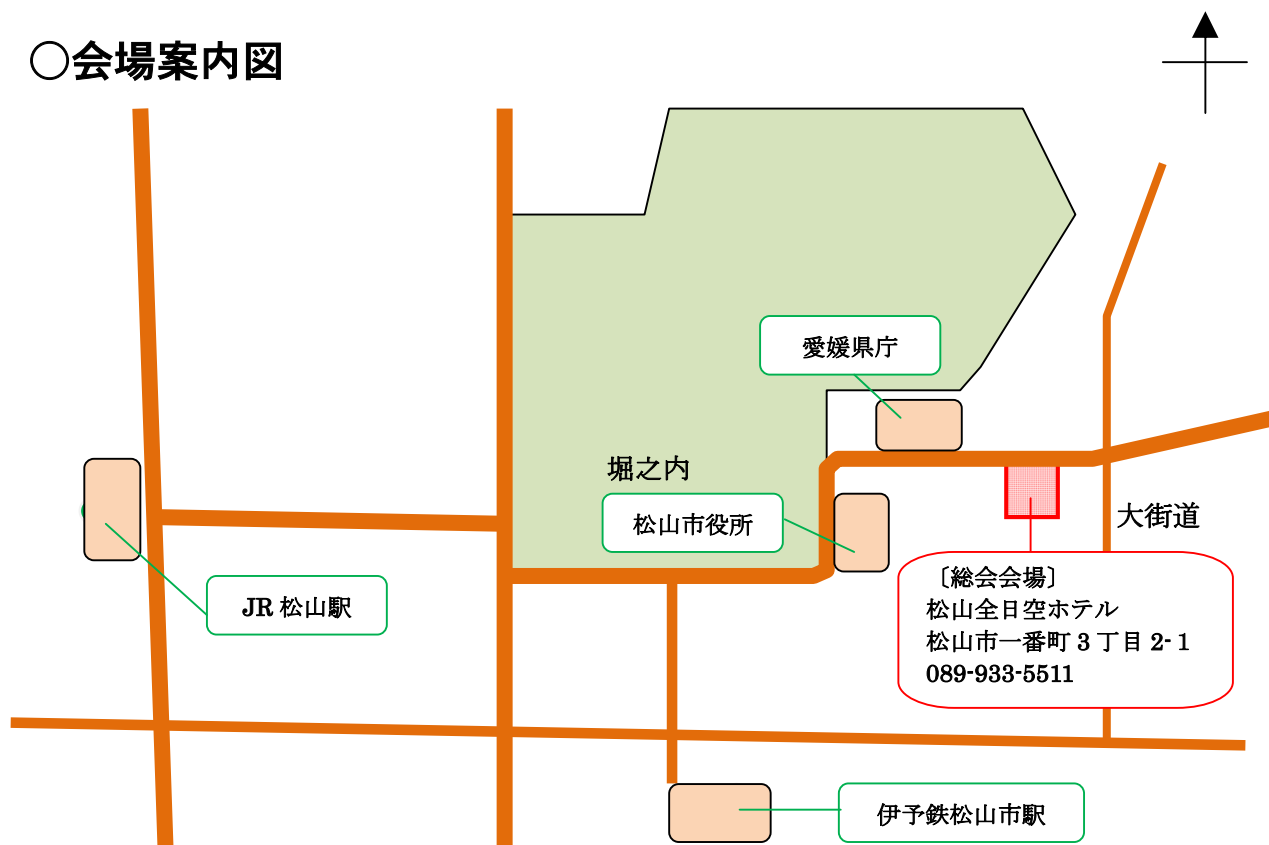
課長補佐

くろせ 黒瀬

やすお 康夫

（内線 6443）

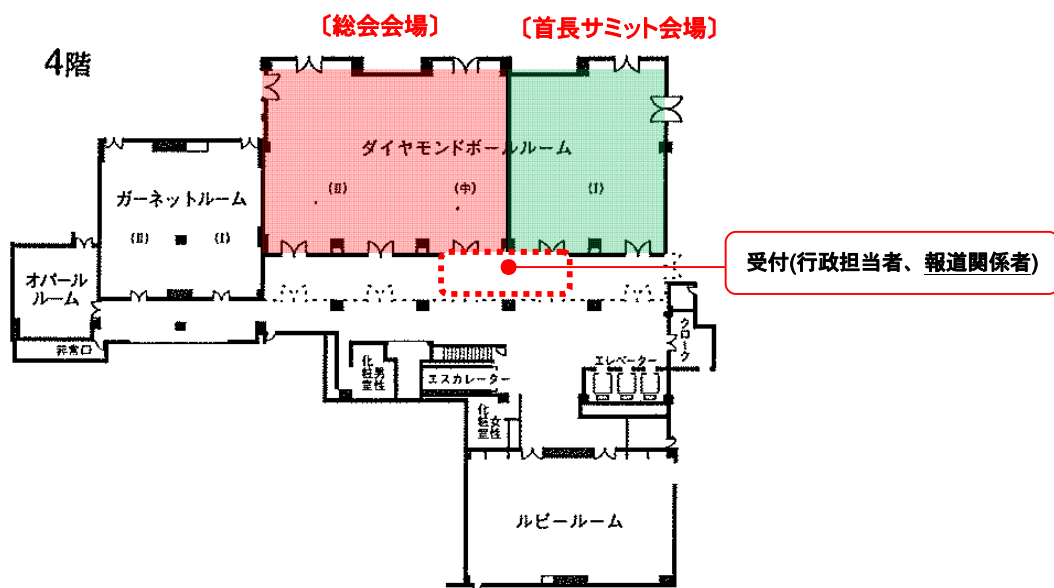
○会場案内図



■会場までの主要アクセス

- ・ JR 松山駅より 路面電車（松山駅前→大街道）：約 9 分
- ・ 伊予鉄松山市駅より 路面電車（松山市駅前→大街道）：約 6 分
- ・ 松山観光港より リムジンバス（松山観光港→大街道）：約 35 分
- ・ 三津浜港より 路線バス（三津浜港→松山市駅）→
→路面電車（松山市駅前→大街道）：約 40 分

○会場配置図 （松山全日空ホテル 4 階平面図）



瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会（海ネット）

海ネットの設置目的

「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」（海ネット）は、瀬戸内海沿岸市町村相互の連携により、瀬戸内海の多様な資源を生かした人の流れを創り出し、防災ネットワーク機能の強化を視野に入れた瀬戸内・海の路の利用振興を図りつつアメニティー豊かな地域として沿岸地域全体の発展に資することを目的とし、平成3年5月に設立された。

海ネットの活動指針

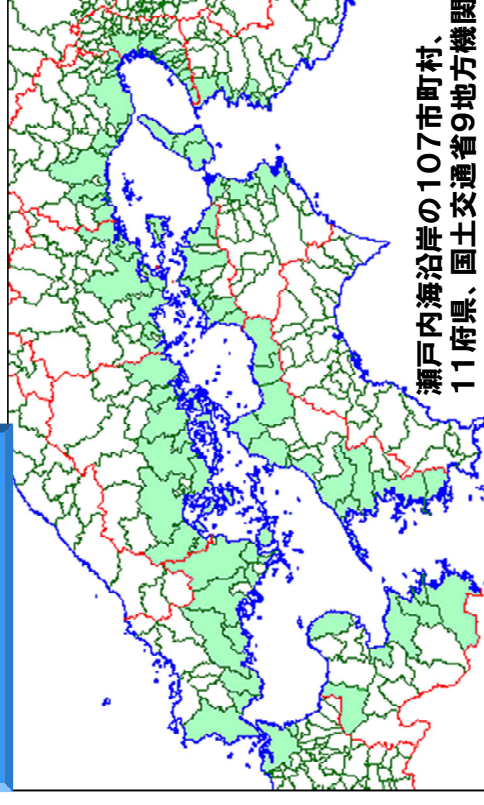
- 高速海上交通時代に対応した今日的意義のある「海の路の構築」、並びに地震波に対応した防災ネットワークの整備
- 瀬戸内海の景観、歴史、文化、食、街並み等インバウンド観光時代における瀬戸内の魅力発信
- 失われた干潟、藻場の再生や災害、荒廃によるはげ山の修復等の瀬戸内海の環境創造

歴代会長

平成 3年～ 6年：姫路市長（戸谷 松司）
 平成 7年～10年：坂出市長（松浦 稔明）
 平成11年～14年：小松島市長（西川 政善）
 平成15年～18年：玉野市長（山根 敬則→黒田 晋）
 平成19年～20年：下関市長（江島 潔→中尾 友昭）
 平成21年～ ：大竹市長（入山 欣郎）※敬称略



海ネット会員



協議会の実施機関となる「実行委員会」

環境事業委員会

「受け継ごう きれいで豊かな瀬戸の海」を合い言葉とした「リフレッシュ瀬戸内」や、ゴミの組成調査「海の健康診断」等を実施し、環境美化活動へ活用するため、関連する調査結果を内外へアピールする。

魅力検討委員会

「瀬戸内・海の路利用振興事業」、「海ネットサポーター提案事業」により会員支援を実施。また、「瀬戸内」をキーワードとした取り組みについて積極的に連携等を図り、瀬戸内の魅力を発信する。

情報発信委員会

海ネット活動の成果などの情報発信を行うとともに、他の実行委員会と連携すること、より多くの人々に瀬戸内の魅力を認識していただき、興味をもってもらえるような情報を発信していく。

防災委員会

「瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定」における締結拡大を図るとともに、協定運営協議会との情報交換等により、本協定の実効性の確保に向けた検討を行っている。

防災ネットワーク機能の強化を視野に入れた瀬戸内・海の路の利用振興

瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援協定の締結

(目的)

第1条 この協定は、瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会(海ネット)を構成する会員のうち、この協定を締結した会員(海ネット共助会員)が、海ネット共助会員の地域において地震等による災害が発生し、被災会員独自では十分な応急対応が出来ない場合に、**主に海の路を介した連携により**、相互に救援協力し、被災会員の応急及び復旧対策を円滑に遂行することを目的に締結するものである。

<省略>

(協定の実効性の確保)

第12条 海ネット共助会員は、**平素より相互に海の路を通じた交流・連携の推進を図りつつ、協定の実効性の確保に努めるものとする。**

平時の観光ルートとしての海の路

密接に連携

災害時の人員・物資輸送ルートとしての海の路

平時の活用

予備船を活用し、新たな観光ルートを開拓。

災害時の活用 (有事)

災害時の人員・物資輸送ルートや被災者の緊急搬送ルートとしての活用。

応援の種類

- (1) 応急対策並びに応急復旧に必要な資機材及び物資の提供
- (2) 応急対策及び応急復旧に必要な職員の派遣
- (3) 医療機関への被災傷者等の受入れ
- (4) 被災者への臨時的な居住施設の提供
- (5) 前各号に定めるもののほか、特に要請があった事項

応援の実施

- ・海ネット共助会員は、応援の要請を受けた場合、可能な範囲でこれを実施する。
- ・海ネット共助会員は、応援の要請がない場合でも速やかに協議を行い、被災会員に応援が必要と判断したときは、応援を実施することができる。



平成24年6月1日海ネット協定締結式

◎68会員(49市18町1村)で締結予定(現在66会員)

- (大阪府)堺市、岸和田市、貝塚市、高石市、忠岡町、岬町
- (兵庫県)姫路市、明石市、洲本市、南あわじ市、淡路市、播磨町
- (和歌山県)海南市、湯浅町、由良町
- (岡山県)玉野市、笠岡市、浅口市
- (広島県)広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、大竹市、東広島市、廿日市市、江田島市、海田町(予定)、坂町
- (山口県)下関市、宇部市、山口市、防府市、岩国市、光市、柳井市、山陽小野田市、周防大島町、上関町
- (徳島県)小松島市、松茂町
- (香川県)高松市、丸亀市、坂出市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島町、直島町、宇多津町、多度津町
- (愛媛県)松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市(予定)、上島町、松前町、愛南町
- (大分県)中津市、姫島村

◇28会員で締結

- ◇平成24年3月29日 28会員が加入
- ◇平成24年5月22日 6会員が加入
- ◇平成24年7月30日 7会員が加入
- ◇平成24年10月29日 2会員が加入
- ◇平成24年12月25日 4会員が加入
- ◇平成25年3月27日 2会員が加入
- ◇平成25年5月22日 4会員が加入
- ◇平成25年10月25日 5会員が加入
- ◇平成25年12月27日 4会員が加入
- ◇平成26年3月28日 4会員が加入
- ◇平成26年5月中 2会員が加入の予定

第 8 回 瀬戸内海首長サミットのテーマについて

テーマ

「瀬戸内・海的路 観光と防災の融合」

<内 容>

瀬戸内海首長サミットでは、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災を踏まえ、同年 11 月 18 日に「第 5 回瀬戸内海首長サミット共同宣言」（以下「共同宣言」という）を採択しています。

共同宣言を踏まえ、昨年までの瀬戸内海首長サミットでは、「瀬戸内・海的路の利用振興・防災ネットワーク機能の強化に向けて」をテーマとし議論を重ねてきました。

この議論を踏まえつつ各種の取り組みを展開したことにより、これまでに、①海ネット協定の締結会員数の拡大、②防災委員会の新設・防災訓練への支援制度の創設、③災害時の緊急物資輸送等を視野に入れ、フェリーや旅客船を活用する取り組みへの支援制度の創設、④防災ネットワークの強化を視野に入れたビジターバス情報の一元的提供の開始等といった成果を上げているところです。

一方、共同宣言以降、瀬戸内の魅力を発信する取り組みが活発化しており、例えば、瀬戸内国際芸術祭 2013 の開催（香川県）、瀬戸内ブランド推進連合の発足（兵庫県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県）、瀬戸内しまのわ 2014 の開催（愛媛県、広島県）等がなされています。このような新たな賑わいを積極的に創出し、瀬戸内の魅力を広く発信していく取り組みを今後更に進めてゆくことが求められます。

さらに、我が国へのクルーズ船の寄港数が近年増加傾向にあるため、海ネット会員や海ネットサポーターが連携し、瀬戸内独自のクルーズ文化の確立を目指し多方面へのプロモーション活動等を行うなど、瀬戸内の魅力をこれまで以上に海外へも発信しつつ、その経済効果を取り込むことが求められます。

瀬戸内海国立公園指定 80 周年の節目である本年、これまでの防災に係る活動の成果を総括し、防災に係る取り組みを更に発展させつつ、共同宣言以降の観光振興に係る動向を踏まえ、世界に誇れる瀬戸内の魅力を創造するための取り組みを行うことにより、観光と防災を融合させた瀬戸内の絆を強めることが必要です。

このため、第 8 回瀬戸内海首長サミットのテーマを「瀬戸内・海的路 観光と防災の融合」と題し、海ネット会員同士が連携して行う「観光」と「防災」に係る取り組みを促進させるためには、具体的にどのようなことが必要かについて活発な議論を交わしていただきます。また、当該議論を踏まえ、瀬戸内海地域が一体となって観光、防災両面の取り組みを進める決意表明として「松山宣言」を採択する予定です。

第 8 回瀬戸内海首長サミット参加予定首長（19 名）

（敬称略）

大阪府	高石市長	さかぐち はんく	阪口 伸六
	岬町	たしろ たかし	田代 堯
和歌山県	和歌山市	おおはし けんいち	大橋 建一
	湯浅町	うえやま あきよし	上山 章善
岡山県	玉野市	くろだ すすむ	黒田 晋
	浅口市	くりやま やすひこ	栗山 康彦
広島県	呉市	こむら かずとし	小村 和年
	三原市	てんま よしのり	天満 祥典
	大竹市	いりやま よしろう	入山 欣郎
	江田島市	たなか たつみ	田中 達美
山口県	坂町	よしだ たかゆき	吉田 隆行
	周防大島町	しいき たくみ	椎木 巧
	香川県	あや ひろし	綾 宏
	愛媛県	のし かつひと	野志 克仁
愛媛県	松山市	おおしろ いちろう	大城 一郎
	八幡浜市	あおの まさる	青野 勝
	西条市	しみず ひろし	清水 裕
	大洲市	しのはら みのる	篠原 実
大分県	四国中央市	しんがい まさかつ	新貝 正勝
	中津市		